

授 業 科 目 一 覧

〔共通科目〕

	1 年次配当科目				2 年次配当科目				3 年次配当科目				卒業必要単位数
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教初 年 育次	0 G U 教 育	1											1年次前期に履修すること。 修得した単位は、卒業単位数に充当できる。
教 養	フレッシュマンスキル	1											10単位以上
	哲学	2	物 理 学	2	○インターンプログラムⅡ	2							
	倫理	2	化学	2	○海外研修Ⅱ	2							
	宗教	2	コンピュータ演習	2	人文芸術基礎探究	2							
	歴史	2	健康科学論	2	人文芸術実践探究	2							
	文学	2	スポーツ科学論	2	人文芸術PBL学習	2							
	国語	2	スポーツ文化論	2	社会科学基礎探究	2							
	文化と芸術	2	スポーツ文化論	2	社会科学実践探究	2							
	経済と社会	2	スポーツ文化論	2	社会科学PBL学習	2							
	法と憲法	2	スポーツ文化論	2	自然科学基礎探究	2							
	現代社会	2	吹奏楽特別講義	2	自然科学実践探究	2							
	政治	2	教養特別講義	2	自然科学PBL学習	2							
	数	2	教養特別講義	2	スポーツ健康科学基礎探究	2							
	学生生活	2	○ボランティア研修	2	スポーツ健康科学実践探究	2							
地球と宇宙の科学	2	○インターンプログラムⅠ	2	スポーツ健康科学PBL学習	2								
地理	2	○海外研修	2										
心理	2	リベラルアーツ入門	2										
言 語	* 英語	A 1	実践英語	A 2									1外国語4単位（*印の科目を修得）以上
	* 英語	B 1	実践英語	B 2									
	* 英語	C 1	実践英語	C 2									
	* 英語	D 1	実践英語	D 2									
	* ドイツ語入門Ⅰ	I 2	ドイツ語応用	A 2									
	* ドイツ語入門Ⅱ	II 2	ドイツ語応用	B 2									
			ドイツ語応用	C 2									
			ドイツ語応用	D 2									
	* フランス語入門Ⅰ	I 2	フランス語応用	A 2									
	* フランス語入門Ⅱ	II 2	フランス語応用	B 2									
			フランス語応用	C 2									
			フランス語応用	D 2									
	* 中国語入門Ⅰ	I 2	中国語応用	A 2									
	* 中国語入門Ⅱ	II 2	中国語応用	B 2									
		中国語応用	C 2										
		中国語応用	D 2										
* 韓国語入門Ⅰ	I 2	韓国語応用	A 2										
* 韓国語入門Ⅱ	II 2	韓国語応用	B 2										
		韓国語応用	C 2										
		韓国語応用	D 2										
				特修外国語 A	2								
				特修外国語 B	2								
* 日本語Ⅰ	I 2											外国人留学生および帰国子女対象の科目	
* 日本語Ⅱ	II 2												
実 務 基 礎	キャリアデザイン入門Ⅰ	I 2	生涯スポーツ指導論	2	キャリアデザイン入門Ⅱ	2	キャリアデザインⅢ	2				修得した単位は、卒業単位数に充当できる。	
	税務・会計入門	2	生涯学習概論	2	キャリアデザインⅠ	2							
	財務・会計入門	2	図書館概論	2	キャリアデザインⅡ	2							
	不動産学入門A	2	博物館概論	2	A I 入門演習	2							
	不動産学入門B	2	日本語教育概論	2									
	不動産鑑定理論入門	2	行動科学概論	A 2									
	IT実務入門	2	行動科学概論	B 2									
	公務員入門	2	A I 活用入門	A 1									
	スポーツ指導論	2	A I 活用入門	B 1									
	アスリート指導論	2											

注) 1. *印の科目は必修科目を示す。
 2. 「リベラルアーツ入門」を修得済み又は同時履修をしなければ、「人文芸術基礎探究・実践探究・PBL学習」「社会科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「自然科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「スポーツ健康科学基礎探究・実践探究・PBL学習」を履修できない。
 3. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、入門Ⅰを修得しなければ、原則として入門Ⅱを履修できない。
 4. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、応用A～Dを履修するには原則として入門Ⅰを修得済み又は、同時履修をしなければならない。
 5. ○印の科目は集中講義を示し、履修するには各科目で実施する説明会への参加が必要である。
 6. 「A I 活用入門A」「A I 活用入門B」の単位を修得しなければ「A I 入門演習」を履修できない。